

令和 8 年度

学 生 募 集 要 項

(追加募集)



独立行政法人 国立高等専門学校機構

鳥 羽 商 船 高 等 専 門 学 校

〒517-8501 三重県鳥羽市池上町 1-1

学生課教務係（入試担当） 電話(0599)25-8404

E-mail gakusei-kyomu@toba-cmt.ac.jp

ホームページアドレス <https://www.toba-cmt.ac.jp>

目 次

教育理念・教育目標・本校のアドミッションポリシー・学科のアドミッショ ンポリシー	1
Ⅰ. 募集人員	2
Ⅱ. 選抜方法	2
Ⅲ. 合格者発表	4
Ⅳ. 入学時に要する経費	5
Ⅴ. 個人情報の取扱いについて	6
Ⅵ. 入学検査及び入学後に関する合理的配慮の提供に関して	6
Ⅶ. その他	7

教育理念

進取・礼譲・質実剛健

教育目標

1. 人間性豊かな教養人となること
2. 創造性豊かな技術者となること
3. 国際性豊かな社会人となること

本校のアドミッションポリシー（入学者受入方針）

1. 礼儀正しく、他人を思いやる心を持った人
2. 将来、技術者や科学者を目指す人
3. 自らの夢に向かって自主的に行動できる人

情報機械システム工学科のアドミッションポリシー （入学者受入方針）

1. 他人を思いやる心を持ち、自主的に行動できる人
2. 基礎学力を有し、情報技術やものづくりに興味がある人
3. コミュニケーション能力を有し、国際社会で活躍したい人

I. 募集人員

情報機械システム工学科総合工学コース 若干名

II. 選抜方法

1. 出 願 資 格

出願資格は、下記の各要件のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 中学校を卒業した者又は令和 8 年 3 月に中学校卒業見込みの者
- (2) 義務教育学校を卒業した者又は令和 8 年 3 月に義務教育学校を卒業見込みの者
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和 8 年 3 月に中等教育学校の前期課程を修了見込みの者
- (4) 外国において学校教育における 9 年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和 8 年 3 月に在外教育施設の当該課程を修了見込みの者
- (7) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和 41 年文部省令第 36 号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (8) その他相当の年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2. 出 願 手 続

- (1) 出願書類受付期間

令和 8 年 2 月 13 日（金）9 時 ～ 2 月 25 日（水）16 時まで

取扱時間 平日 9 時～16 時

郵送の場合は 2 月 25 日（水）までに必着のこと

- (2) 出願書類受付場所

〒517-8501 三重県鳥羽市池上町 1 番 1 号

鳥羽商船高等専門学校 学生課教務係（入試担当）

電話（0599）25-8404

なお、郵送の場合は必ず書留郵便（簡易書留可）とし、封筒表面に「出願書類在中」と朱書してください。

3. 出 願 書 類

書 類	備 考
① 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
② 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。出願期限から 3 か月以内に撮影した上半身脱帽の写真(縦 4 cm×横 3 cm)を貼付してください。
③ 受 験 票	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
④ 入 学 検 定 料	本校所定の「検定料振込用紙」に必要事項を記入のうえ、検定料 16,500 円を最寄りの銀行から本校指定の送り先(検定料振込用紙に記載)へ電信扱いで振り込んでください。(現金自動預払機(ATM)による振込は不可)なお、ゆうちょ銀行から振り込む場合は、振込用紙が異なります。詳細は本校ホームページに掲載している「入学検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合の注意点」をご覧ください。
⑤ 振 込 金 通 知 書 (学校提出用)又は 振 込 受 付 書	取扱銀行収納印が必要です。(取扱期間 令和 8 年 2 月 13 日～令和 8 年 2 月 25 日)ゆうちょ銀行で振り込まれた場合は、振込受付書を提出してください。
⑥ 受 験 票 送 付 用 封 筒	定形封筒(長形 3 号: 120 mm×235 mm)に志願者の郵便番号、住所、氏名を書き、410 円切手(速達)を貼ってください。(郵送での受領を希望する場合のみ。)
⑦ 入 学 志 願 者 調 査 書	本校所定の用紙により中学校長が作成し、厳封してください(高等学校及びその他の学校の在学者又は中退者は、その学校長の作成した調査書が別に必要なので、願書請求の際、その旨を申し出てください)。

◎志願者は、上記提出書類①～⑤の必要事項を記入し、まとめて中学校長に提出してください。

◎中学校長は、上記⑥を添え、一括して提出してください。

◎令和 8 年 3 月以前に中学校を卒業した者は、①～⑥を志願者が一括して提出してください。

◎各様式は本校ホームページよりダウンロードしてご使用ください。

URL : <https://www.toba-cmt.ac.jp/nyuugaku/chosasho/yoshiki/>

4. 出願上の注意事項

(1) 出願書類提出後に記載事項の変更を生じたときは、ただちに申し出てください。

(2) 出願書類に虚偽の記載のあった場合は、入学後もその入学を取り消すことがあります。

5. 選抜の実施方法

入学者の選抜は、中学校長から提出された調査書と、作文及び面接を総合的に判定して行います。

(1) 日時及び検査科目等・内容

月 日	時 間	内 容	備 考
2 月 27 日 (金)	9 : 0 0 ~ 9 : 3 0	受 付	※面接は、中学校で学習した科目に関する試問を含む。
	9 : 4 5 ~ 1 0 : 4 5	作 文	
	1 1 : 0 0 ~	面 接※	

(2) 受験会場

鳥羽商船高等専門学校

Ⅲ. 合格者発表

令和 8 年 3 月 6 日 (金) 午前 10 時

本校内に合格者の受験番号を掲示するとともに、上記時刻以降、本校ホームページに掲載します。

ホームページ : <https://www.toba-cmt.ac.jp/nyuugaku/goukaku/>

また、出身中学校長宛に「入学者選抜検査結果」「合格通知書」を同日中に発送します。正式な合格の確認は「合格通知書」によります。

なお、電話等による判定結果の照会には一切応じません。

入学確約書の提出

合格通知書を受けた者は、令和 8 年 3 月 17 日 (火) までに本校所定の「入学確約書」を提出してください。(簡易書留郵便による郵送も可。その他詳細については、合格通知書送付の際にお知らせします。)

IV. 入学時に要する経費

区 分	金 額	備 考
入学料	84,600 円	3 月 19 日までに納付
授業料（前期分）	117,300 円	9 月以降に口座振替（引落とし）
教科書代	約 40,000 円	入学手続説明会時に支払
制服、作業服代等	約 60,000 円	入学手続説明会時に支払
奨学後援会会費、学生会会費、雑費	約 30,150 円	5 月下旬に口座振替（引落とし）
寮経費（寄宿料、学寮運営費、寮生会会費、 エアコンリース代等）	約 84,000 円	5 月下旬に口座振替（引落とし） ※給食費（約 37,000 円／月） は 6 月に 3 ケ月分を口座振替 （引落とし）予定

※その他、必要となる経費もあります。

※入学前説明会は 3 月 23 日に開催いたします。

第 1 学年から第 3 学年の学生を対象とした**高等学校等就学支援金制度**について、令和 7 年度は以下の通りです。**支給期間は、原則として通算 36 月**です。

- ・市町村民税の課税標準額×6%－市町村民税の調整控除の額が **15 万 4,500 円（年収 590 万円程度）未満の世帯**は、月額 **19,550 円（年額 234,600 円）**が支給されます。（授業料の全額分が支給）
- ・上記以外の世帯は、月額 **9,900 円（年額 118,800 円）**が支給されます。（授業料の約半額分が支給）

（参考）文部科学省就学支援金制度

URL https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/1342674.htm

（参考）文部科学省家計急変支援制度サイト

URL https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/01754.html



4 年生以上の学生への支援制度について

4 年生以上の学生については、**授業料減免制度**が適用されます。年収約 270 万円以下の世帯が授業料を全額減免されます。また、多子世帯に該当する場合は、授業料が全額減免されます。

（参考）給付奨学金と授業料減免制度について

URL https://www.mext.go.jp/kyufu/student/20240315_ope-dev03_2.pdf

（参考）日本学生支援機構の進学資金シミュレーター

URL <https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>



※令和 8 年度については変更の可能性があります。

変更があった場合は、文部科学省等の定める基準に基づき取扱います。

V. 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として使用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度改善のための調査研究

VI. 入学検査及び入学後に関する合理的配慮の提供に関して

鳥羽商船高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、入試または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学検査において障害等を理由とした合理的配慮の提供を要する場合は、出願書類受付期間前までに必ずご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、十分な合理的配慮を受けられず、不利益が生じる可能性があることにご了承ください。

必要に応じて、生徒、保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請および問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

【問い合わせ先】 <https://forms.office.com/r/Ckjd6MkQwB>

鳥羽商船高等専門学校 学生課教務係（入試担当）



（入学後の合理的配慮に対するお願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階に**学生課教務係（入試担当）（0599-25-8404）**まで事前に相談されることをお勧めします。入試後に合理的配慮に関して初めて申請されると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談をされても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

VII. その他

(1) 受理した出願書類及び入学検定料は、返還しません。ただし、入学検定料については、以下の場合に返還請求ができます。

① 入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった場合、又は出願が受理されなかった場合。

② 誤って入学検定料を二重に支払った場合。

(返還請求の方法)

本校ホームページより、以下の様式をダウンロードし、提出してください。

ホームページ：<https://www.toba-cmt.ac.jp/nyuugaku/chosasho/>

・入学検定料相当額返還請求申出書（必要事項を記載してください。）

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

返還請求期限：令和8年3月18日（水）15時必着

送付先：〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1-1

鳥羽商船高等専門学校 学生課教務係（入試担当）

※追跡確認ができる方法で郵送してください。

(2) 国立高等専門学校独自の修学支援制度として、以下の場合において、選考のうえ入学料の免除を受けることができる場合があります。

・入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合

・入学前1年以内において、入学者もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

免除申請の詳細は、学生課教務係までお問い合わせください。

(3) 出願書類に虚偽の記載のあった場合は入学を取り消すことがあります。

(4) 氏名等に用いられる漢字にコンピュータで表記できない文字が含まれている場合は、合格通知書等で用いる漢字をJIS漢字コードの第1・第2水準の文字またはカタカナに置き換える場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(5) 学寮は、本校の教育目的を達成するために設けられた教育施設であり、寮生活は自立心を養い、生涯の友を得られる修養の場です。入学が決定し、入寮を希望する場合には、入寮願を提出して頂き、学寮規則により、学寮の定員数、通学距離、通学時間及び家庭の事情等を勘案して入寮を許可しています。許可期間は当該年度の終わりまでであり、年度ごとに在寮継続審査を実施しています。2年目以降は、在寮継続願を提出して頂き、学寮の定員数、通学距離、通学時間及び家庭の事情等に加えて、学寮における生活態度等を勘案して決定します。継続在寮を希望されてもご希望に添えない場合がございますのでご了承ください。